

- 問1 1世紀半ば、日本の小国の一つであった奴国の王が、中国の王朝である後漢へ使者を送った時期の社会状況として、最も適切なものはどれですか。
(2022年 愛媛県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 仏教による国家の安定を図るため、聖武天皇の命によって全国各地に国分寺や国分尼寺が建立された。 | 2. 巨大な前方後円墳が築造されるようになり、その周囲には死者を供養するための埴輪が並べられた。 | 3. 大陸から伝わった稲作や金属器の使用が広まり、食料の蓄えや土地をめぐる集落間の争いが起こるようになった。 | 4. 狩猟や採集を生活の中心とし、ナウマンゾウなどの大型動物を追って移動を繰り返す生活を送っていた。 |
|---|--|--|--|
- 問2 邪馬台国の女王である卑弥呼が、中国の魏（ぎ）へ使いを送り、皇帝から「親魏倭王」の称号や金印、多数の銅鏡を授かった政治的な背景として、最も適切な説明はどれですか。
(2020年 秋田県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 魏の後ろ盾を得ることで自らの権威を高め、国内の統治や他国との関係を有利に進めるため | 2. 魏と共同で朝鮮半島の高句麗を攻撃し、領土を拡大するための軍事同盟を結ぶため | 3. 魏の強力な軍勢力を日本に直接呼び寄せ、九州地方の反乱勢力を武力で鎮圧するため | 4. 魏の優れた律令制度をそのまま日本に導入し、中央集権国家をいち早く確立するため |
|--|--|---|---|
- 問3 弥生時代の社会や文化について述べた次の文のうち、近畿地方を中心に分布する青銅器である「銅鐸」の特徴や背景を説明したものとして最も適切なものはどれか。
(2020年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 古墳の埴丘に並べられた焼き物であり、葬られた王の権威を示したり聖域を区切ったりする役割があった。 | 2. 稲作の豊作を願う祭りの道具として使われ、表面には当時の人々の生活の様子が描かれることもあった。 | 3. 死者を埋葬する際に副葬品として納められた装飾品で、魔除けなどの意味を持っていた。 | 4. 実用的な武器として使われたのち、次第に祭祀用へと変化したもので、九州地方北部で多く出土する。 |
|---|--|---|---|
- 問4 弥生時代の遺跡の復元資料において、茅（かや）などの植物で葺かれた屋根が地面に接するほど低く設置され、地面を掘り下げて基礎としている住居が見られます。この住居と、同じ時代に稲などを保管するために作られた「高床倉庫」の構造上の最大の違いは何ですか。
(2018年 奈良県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--------------------------------------|-----------------------------------|---|
| 1. 住居は木材を一切使わずに石だけで作られているが、倉庫は木材を中心に作られている | 2. 住居は瓦で屋根を葺いているが、倉庫は茅や草を用いて屋根を葺いている | 3. 住居は円形のものしかないが、倉庫はすべて三角形の形をしている | 4. 住居は地面を掘り下げて床を作っているが、倉庫は柱によって床を高い位置に設けている |
|--|--------------------------------------|-----------------------------------|---|
- 問5 長崎県杵岐市の「原の辻遺跡」は、大規模な環濠集落を特徴とし、中国の歴史書に登場する「一支国（いきこく）」の王都とされています。この一支国も含まれる当時の倭国の様子や、女王卑弥呼が中国へ使者を送った出来事について詳しく記されている書物はどれですか。
(2017年 長崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------|-------------|------------|------------|
| 1. 『魏志』倭人伝 | 2. 『後漢書』東夷伝 | 3. 『漢書』地理志 | 4. 『宋書』倭国伝 |
|------------|-------------|------------|------------|
- 問6 弥生時代の遺跡から出土する銅剣や銅鐸（どうたく）などの青銅器について、日本における当時の主な使用目的を説明したものとして最も適切なものはどれですか。
(2021年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------------------|--|---------------------------------------|---------------------------------------|
| 1. 木を切り倒したり土を掘り起こしたりするための農具として使われた | 2. 大陸との交易において支払いに用いられる、価値の基準となる貨幣として使われた | 3. 集落の祭祀（さいし）や儀式において用いられる祭りの道具として使われた | 4. 戦場において敵を攻撃したり身を守ったりする実戦用の武器として使われた |
|------------------------------------|--|---------------------------------------|---------------------------------------|
- 問7 弥生時代の社会における銅鐸の特徴や役割について述べた文として、正しいものを選びなさい。
(2023年 三重県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 大陸との交易を円滑に進めるために、重さに応じた価値を持つ貨幣として使われた | 2. 鉄器よりも硬度が高いという性質を活かし、木を伐採するための工具として普及した | 3. 次第に大型化し、表面には当時の生活や自然を反映した装飾が施されるようになった | 4. 各個人の家の中に置かれ、日常的に家族の健康を祈るための仏具として使われた |
|--|---|---|---|
- 問8 兵庫県神戸市の桜ヶ丘町などで出土した、釣り鐘のような独特の形をした弥生時代の青銅器について述べた文として、最も適切なものはどれですか。なお、この青銅器の表面には、当時の生活の様子や幾何学的な文様が描かれていることがあります。
(2021年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------------------------|--------------------------------|----------------------------------|--------------------------------|
| 1. 縄文時代の集落で見つかる、魔除けのために作られた土偶である | 2. 狩猟や農耕の様子が描かれた、祭祀に用いられた銅鐸である | 3. 古墳の副葬品として納められた、馬に装着する鉄製の装具である | 4. 魏の皇帝から邪馬台国の女王に贈られたとされる銅鏡である |
|----------------------------------|--------------------------------|----------------------------------|--------------------------------|
- 問9 邪馬台国の女王が中国の魏の皇帝に使者を送った際、皇帝から授けられたとされる称号と、その証として贈られた品物の組み合わせとして適切なものを選びなさい。
(2025年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------|----------------------------|-------------------------|------------------------------|
| 1. 「親魏倭王」の称号と、金印や銅鏡 | 2. 「漢委奴国王」の称号と、志賀島で発見された金印 | 3. 「倭王」の称号と、百済から贈られた七支刀 | 4. 「日本国王」の称号と、明との貿易に用いられた勘合符 |
|---------------------|----------------------------|-------------------------|------------------------------|
- 問10 歴史上の出来事を整理する際、100年単位の「世紀」という区分が用いられます。例えば、西暦300年という年は、何世紀の終わりの年にあたりますか。
(2023年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|---------|--------|
| 1. 3世紀 | 2. 4世紀 | 3. 30世紀 | 4. 2世紀 |
|--------|--------|---------|--------|
- 問11 弥生時代における「青銅器」と「鉄器」の使われ方の違いについて説明した文として、最も適切なものはどれですか。
(2016年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 鉄器も青銅器も、ともに稲作を効率化するための農具としてのみ、実用的に普及した。 | 2. 鉄器は縄文時代から日本列島で独自に作られていたが、青銅器は弥生時代になって初めて大陸から伝わった。 | 3. 青銅器は武器や農具などの実用的な道具として用いられ、鉄器は祭りや儀式のための宝物として用いられた。 | 4. 鉄器は武器や農具などの実用的な道具として用いられ、青銅器は祭りや儀式のための宝物として用いられた。 |
|--|--|--|--|
- 問12 弥生時代に作られた青銅器の一種で、釣鐘のような形をしており、表面に流水紋や当時の狩猟・農耕の様子が描かれていることがある、稲作の祭りなどに使われたとされる遺物を何というか名称を答えなさい。
(2020年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 1. 銅鏡 | 2. 銅鐸 | 3. 勾玉 | 4. 埴輪 |
|-------|-------|-------|-------|
- 問13 弥生時代に大陸から稲作とともに伝えられた金属器のうち、強度が非常に高く、主に武器や工具、木製農具の刃先などの実用的な道具として用いられたものはどれですか。
(2023年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|---------|-------|---------|
| 1. 青銅器 | 2. 磨製石器 | 3. 鉄器 | 4. 打製石器 |
|--------|---------|-------|---------|